

iBAQS ver 3.0.0	機能一覧	更新日	2009/10/5
-----------------	------	-----	-----------

iBAQS機能一覧を記す。

No	機能名	内容	バージョン	
			3.0.0以前	3.0.0
<b>全体機能</b>				
1	接続制御	接続ユーザーの認証／検疫をチェックし、接続ネットワーク機器へ許可／拒否を制御。	○	○
2	認証機能	認証対象を次の3種類に対応。複数の組み合わせにより、認証強化。 ・MACアドレス（端末認証） ・ユーザーID（個人認証：EAP-MD5、PEAP、EAP-TTLS） ・クライアント証明書（個人認証：EAP-TLS） ※以前までのSNMPトラップ方式は削除	×	○
3	検疫機能	エフセキュア ポリシーマネージャサーバを内包し、クライアント検疫を管理。	○	○
4	冗長化	Active/Standby方式で冗長化を構成し、プライマリサーバに障害が発生した場合、セカンダリサーバに自動移行し運用継続させる。	×	○
5	DHCP	DHCPを内包し、本システムにてクライアントのIPアドレスを固定割当する。各クライアントのIPアドレス設定は、DHCPサーバから自動取得とする。	○	○
6	ネットワーク間移動	DynamicVLANに対応。 ローミング対応。(最大10ネットワーク)	×	○
<b>個別機能</b>				
1	システム状態表示	管理画面のトップに下記システム状況を表示。 ・ライセンス有効期限 ・ウイルス用パターンファイル状況 ・不正アクセス／サービス／ネットワーク機器状態など	△	○
1	MACアドレス収集機能	MACアドレスを収集。 CSVファイルへ出力し収集したMACアドレスを元にクライアントの登録が可能	×	○
	不正アクセス監視機能	不正アクセス検出時に管理画面上の表示／アラートメール送信／正規クライアントへの登録／CSVファイルへの出力を行う。また、不正アクセスが検出されたネットワーク機器のポート番号を明示。	○	○
2	監視機能	下記状態を監視。 ・不正アクセス監視 ・サービス状態監視 ・ネットワーク機器状態監視 ・クライアント状態監視	○	○
7	通信制限状況確認／解除	ネットワーク機器にて通信制限されている状況の確認と解除。	○	○
3	ログ管理	認証ログ、AVS確認ログ、管理ログ表示をはじめ、CSVファイルへのエクスポート可能。Syslogサーバへの出力。	×	○
10	アクセス制御	管理画面を利用する際のアクセス制限を設定。 最大3つまで設定可能。(IPアドレス、ネットワーク範囲での指定)	×	○
6	アラート通知	不正アクセス検出時、最新アップデート確認時、システム異常時などのアラート通知。	△	○
9	メール認証	システムのメール認証において、SNMP認証／POP before SMTP認証が可能。	×	○
4	UPS連携	UPSとの連携。	×	○
5	SNMPマネージャ連携	SNMPマネージャとの連携。	×	○
11	認証局機能	プライベートCAを搭載。	×	○
8	クライアント利用制御	登録クライアントの利用有無、認証有効期限やパスワード有効期限にて接続制御。	×	○
12	CSVファイル一括登録	CSVファイルを利用したクライアントの一括登録。	○	○
13	バックアップ／リストア	FTP/SMB/ローカルの3つのバックアップ方式を採用し、バックアップファイルからのリストアを行ったり、工場出荷時に戻すことが可能。	○	○
14	ハードウェア状態確認	サーバのCPU/メモリ/ディスクの使用状況を確認。	×	○
15	通信確認	ping、traceroute、nslookupなどのコマンド利用が可能。	×	○